



坂町マスコットキャラクター
坂 うめじろう

おすすめの絵本

19号

令和6年4月

坂町立図書館

TEL082-886-3280

【おはなし会】

第3木曜日(くれよん) 10:30~11:00

第4木曜日(にこにこ) 10:30~11:00

*日時の変更がある場合がありますので、詳しくは広報にて確認をお願いします。



0歳から3歳くらいまで



『くさはら』

加藤 幸子/ぶん
酒井 駒子/え

福音館書店

家族で河原に遊びに行った小さな女の子。みんなは水辺に誘うけど、女の子は一羽の蝶に誘われて、くさはらへ入っていきます。草の海に囲まれて女の子の帽子しか見えなくなり次第に心細くなる女の子でしたが…。幼いころの感受性のそのままだが描かれています。



『おなかのすいた

ばったのトト』

得田 之久/さく

福音館書店

おなかがペコペコのトノサマバッタのトト。大好きなエノコログサを探すなか、ごちそうを食べているさまざまな虫たちに出会います。さあ、トトといっしょに夏の虫の世界へ!!



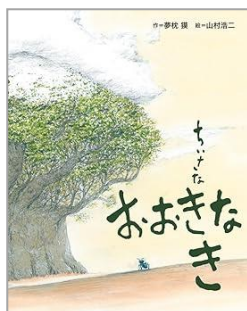
かつては自分達も子どもだったことを思い出してお母さん、お父さんに読んでもらいたい絵本



『ちいさなおおきな き』

夢枕 獏/文
山村 浩二/画

小学館

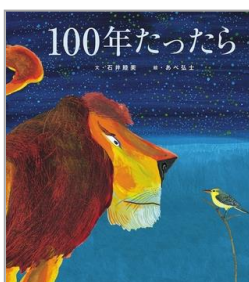


始まりは小さな芽。その芽がぐんぐんのびて、大きな木となり、そこに生き物たちが割拠し、ぶつかり合いそして…。どこか不思議な世界をユーモラスかつ大胆に描いた絵本です。

『100年たったら』

石井 睦美/作
あべ 弘士/絵

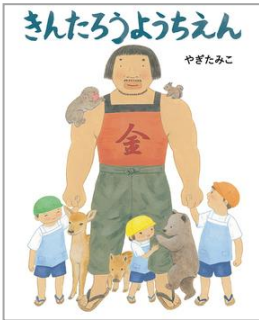
アリス館



ずっと昔、ライオンがひとりっきりで住んでいた。ある日飛べなくなった一羽の鳥が草原におりたち、一緒に過ごすようになるが…。ライオンと鳥がたどる、はるかな時を描いた切なく壮大な物語です。



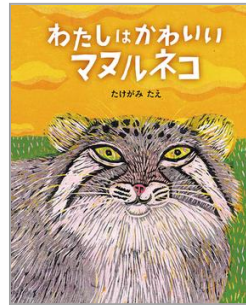
4 歳から6歳くらいまで



『きんたろうようちえん』
やぎ たみこ/作

あかね書房

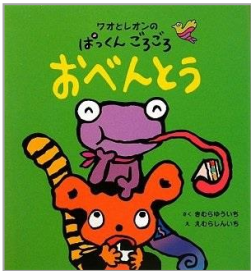
山の上に、子ども達とどうぶつたちがいっしょにすごす幼稚園があります。園長は、力持ちで、どうぶつの言葉が話せる、きんたろう先生です。ある日、岩の水飲み場から、おかしい声が聞こえてきて・・・。



『わたしはかわいいマヌルネコ』
たけがみ たえ/作

あかね書房

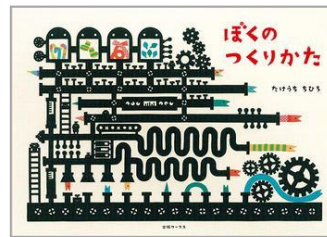
世界でいちばん古いネコは、夕暮れと朝が好き。まんまるモフモフで人気のマヌルネコが、ほっこり楽しい野生の暮らしを教えてくれる。かわいいだけでなく、強かさ、たくましさのをぞかせる姿が楽しい、あざやかな版画で描かれた絵本です。



『ワオとレオンのばっくんごろごろおべんとう』
きむら ゆういち/さく
えむら しんいち/え

長崎書店

ピクニックにやってきたワオとレオン。ワオはレオンがくれたフルーツサンドを食べようしますが、いつの間になくなっていて…。ワオキツネザルのワオと、カメレオンのレオンとの愉快な友情絵本です。



『ぼくのつくりかた』
たけうち ちひろ/作

出版ワークス

ながーいキャンディ、しましまのくつした、ながーいマフラー、みどりののはっぱ。なにができるかな？にゅー、によき、によろん。へびのできあがり！色とりどりの材料が迷路のような工場です。音と色を楽しむ切り絵絵本です。



『ファーディのはる』
ジュリア・ロリツツ/さく
ティファニー・ベーク/え
木坂 涼/やく

理論社

こぎつねのファーディが散歩をしていると、白いものがふわふわ ひらひら。「・・・ゆき？たいへんだ、これからきっとさむくなるんだ！」ファーディは大急ぎで森のみんなにお知らせにいけますが・・・。

